

社内報 2 月号

株式会社NITTOH

大阪事業部新築工事の地鎮祭

1月12日午前11時より、現地で地鎮祭を実施しました。施工を行う日本建設様より6名、当社より5名が参列し、地元岡町駅近くの歴史ある神社である原田神社を齋主に厳かに実施いたしました。周囲の側溝など開発申請工事は終了し、いよいよ本体工事に着手します。



地鎮祭の様子

不動産課で中古戸建住宅の販売を実施

不動産課として、初めて扱った中古戸建住宅のリノベーション物件が、販売開始して即日に申し込みをいただき、これで、今期9棟目の契約完了となりました。今後もマンション、戸建ての両方で、良い物件を仕入れて、リノベーションを行い販売していく予定です。



戸建リノベーション物件

ハウスクリーニング課の状況

売上拡大計画を立てていましたが、前年より売上が減少しています。これは、今まで行っていた新築住宅の養生の仕事から撤退したことが要因なのですが、撤退は、既存住宅でのハウスクリーニングを主軸として、高齢者宅での生活支援サービスなどに重点をおいて活動しようという方向性と採算性を考慮して決定しました。シロアリ防除を主な売上としている住宅メンテナンス事業部においても、変更した事業部の名前のおり、今後は住宅のメンテナンス全般を受注していこうという方向で動いています。JAさんとの協力関係を密にして、当社の体制をさらに強化していけないといけないのですが、世の中の人材難で思うようには進んでいません。高齢化を意識した新しいビジネスとして、まだまだ模索中ですが、5年後、10年後には、世の中に役立ち、ビジネスとしても会社業績に貢献できるものを作り上げようと思進んでいきます。

大雪

1月には強力な寒波に見舞われ、名古屋、四日

市、米原あたりが例年になく大雪になりました。岐阜営業所エリアの飛騨方面や北陸営業所エリアの富山方面は、かなりの雪で業務に支障がでています。

当社への期待

新年のお客様へのあいさつ回りをしていると、当社への期待をひしひしと感じます。人手不足が顕著な状況で法人のお客様が期待するのは、ひとえに施工力の増強です。元請と言われるお客様は、事業の拡大のための施策をいろいろと考えています。基本的には減少している、また、今後減少が予想される新築住宅での仕事の減少分を、既存建物に関する仕事で補っていかうとしています。日本の企業は、工場での生産力に関しては、機械化や外国人労働力をいかに活用するかで知恵を絞っていて、新築現場でもかなりそうした面があります。また、ビルメンテナンスなどで熟練を要しない労働力は、研修生として日本に来る外国人を活用しようとしています。そして、既にいろいろな取り組みを実行しています。しかし、当社が得意としている既存建物での改修工事などでは、熟練した技術や顧客とのコミュニケーション能力が求められます。機械化も外国人労働力の活用も最も難しい分野といえます。リフォーム事業を成長産業と考えて参入してくる新興の企業も多くありますが、カッコイイ事業計画をつくり、営業活動にITを活用したりしても、現場での肝心な部分は、お粗末であるか、優良な施工力を所有する企業に頼るしかないというのが現状です。元請の企業は、受注するための総合的なマネージメント能力、大きな意味での技術力を要しています(これは当社にはない部分)が、現場での施工能力、また、それを指導する能力は持ち合わせていません。さすがに一人一人の職人さんとアライアンスを結んでいくわけにもいきませんので、当社のような企業との関係を強化していきたいと考えてくれるわけです。ですから、既存の建物において、顧客満足度の高い施工能力があれば、必ず仕事は増えていきます。しかし、人手不足の世の中で、それは容易なことではなく、なかなか拡張できていません。多くのお客様から現状エリアでの施工能力の増強ばかりでなく、施工エリアの拡大要請も多くあります。札幌、関東、中国、四国、九州など、当社の営業所がないところで既存顧客のフォローに苦勞しているとも言われたりします。大変、ありがたいことです。社員、協力業者の皆さんの努力の結果であり、当社としてもビジネスチャンスであり、採算性や実現可能性もよく考えながら、積極的に人材の増強を行い、施工能力、施工エリアの拡大に努めていきたいと思っています。

山田天満宮

本社近くに上野天満宮、桜天神社とともに名古屋三大天神の一つである山田天満宮があります。現在は、受験シーズンですので、多くの方で賑わっており、境内にある梅の花も寒さの中で咲いています。「耐雪梅花麗」、受験生の方も頑張って良い結果になるといいですね。お子様をお持ちの方は、

本社に来た時にはお立ち寄り下さい。本社より、大曾根方面に徒歩約5分です。



山田天満宮



なでると賢くなる牛



梅の花

吹付断熱の機材を購入

床下に断熱材を吹付ける機材が、2月初めに法人建設課に納品されます。吹付けるため床下の構造によらず、隙間なく施工でき、施工性が大幅に向上するとともに断熱性能も大きく改善されます。断熱材が入っていない古い木造家屋は、根太間のピッチがまちまちだったり、丸太が使用されていたりと今までの工法では施工が難しかったのですが、今後はそうした住宅へも対応が可能になると思います。2月にいくつか社員宅等で試験施工を行い、来年度4月より販売予定です。

元号が新しく

平成の時代は、30年までで、新しい年の元日に皇太子さまが天皇に即位され新しい元号に変わると決定されました。当社の46期の12月で平成が終わり、1月から新しい時代となります。46期の決算では、売上100億の達成を目指しており、当社も新しい時代を迎えるのだと思います。当社は、着実に成長をしており、財務的にも今まで以上に思い切った手も打てるようになってきました。若い人には、5年後、10年後を見据えて、10年後のありたい姿を考えて、夢を語って欲しいと思います。そのためには、短期的な浮き沈みがあったとしても、前進を続け、5年後にはこれだけの革新をした、新しい種まきをし、いつ開花させる、新しい事業を創ったと語れるようになってほしいと思います。単に新規開拓とか、新商品の採用といった範疇を越えて、新しい発想で、わくわくする新しい仕組みやシステムを皆でつくっていきたく思います。昭和の時代に生まれ、平成の時代に成長し、そして新しい時代へ。

コラム「NO WALL」

トランプ政権が誕生し、物議をかもし大統領令を次々と発行し、懸念はありましたが、予想以上の暴走です。アメリカのことは置いて、ビジネスや会社の活動において、壁を作ることで、いいことは何もありません。部門間の協調も大切ですし、人の採用においても偏見や差別のような排他的なことでは、いいことは何も生まれません。他社との取引においても、壁を作ればイタズラに敵を作ること

に繋がり、将来に禍根を残しかねません。今は、協力関係が築けなくても、時間がたち状況が変われば良い関係に変わるかもしれないので、そっと待っていただければいいのです。ライバル企業であっても、競い合うことでお互いが成長でき、業界全体が伸びていくことになり、ライバル企業から受ける恩恵は大きいです。スポーツでも強い相手がいるから、いい試合ができるのであって、相手に敬意を払

い、深いところでは同じ目標を共有する同志です。国にも、会社にもルールがありますので、それは守られなくてはならず、守れない人は規則に則り、排除されるか、処罰が与えられないと秩序は保たれません。しかし、権力のある側が謙虚さを失い、譲歩することも忘れて、自分本位の解釈で運用しては、その社会に良い結果は訪れず、小さな衝突から後戻りできない悲惨な状況へと進んでしまう可

能性もあります。しっかりとした考え方があれば、壁を作らず、それぞれの個性を尊重し、うまくつきあっていけるはずで、受け入れの幅も広がり、それが成長や革新につながるはずですが。本来、アメリカは、そういう国であったはずなのですが。当社は、NO WALL です。

施工事例紹介

- 施工場所： 東京都 東久留米市 I 様邸
- 工 事 名： 停電時継続機能付ガス燃料電池設置(在宅工事)
- 建 物： 軽量鉄骨造



設置前



エネファーム設置後

■担 当： 東京営業所 設備課 矢内 宏次

給湯器と暖房熱源機の2台を1台のエネファームに接続すると窓開口部の離隔距離を確保するために建物から離し、隣地側に設置する方法であったため設置周辺をほぼ掘削し、多数配管を切回し延長、地中に埋めていく作業が大変でした。お客様の不便が無いよう、一日でお湯・風呂・暖房が使えるようにするため、作業中の現場は戦場さながらの状態で作業者が無駄なく動かなければ難しい現場でした。

停電時にエネファーム起動電力で最長4日間 500W 使用でき、床暖房も使えるため、お客様の満足と光熱費削減への期待が強く印象に残った物件でした。

ちょっと一言

「内部監査という仕事」



内部監査室 室長
杉山 明夫

内部監査室の杉山と申します。

「ちょっと一言」への出稿依頼をいただきまして、さてどんなことを述べていいのやら大変困惑しました。そこで、まず今までの「ちょっと一言」を紐解いてみようと思入社以来の社内報を読み返してみましたが、部門の責任者の方から、入社間がない若い人達まで「自分の人生観」「業務への取り組み姿勢」「経験から培った教訓」「趣味の世界」など様々な一言が寄せられ、実にうまくまとめられており改めて心を動かされた次第です。

自分にはこのように話をまとめる才覚も知識もありませんので、現在担当させていただいている業務の一端について述べることにいたします。

内部監査という仕事は当社では私一人が担っていますので皆さんにとってよくわからない業務かと思えます。

会社が健全かつ継続的に発展していくためには、業務上の重大な誤り・過ちを予防、発見、是正する自浄機能(日常モニタリングと独立的評価)が働く体制とその整備が必要かつ不可欠であるといわれています。

要するにミス・エラー等の誤り、違反・不正等の過ちという異常な事態が起きないように予防するシステム、それから誤り・過ちという異常な事態が起きて透かさず発見して是正するシステムとプロセスです。この自浄機能には各部門の中で業務に組み込まれ日々行われているものと、組織から離れた立場にある者が行うものとの2つがあります。

一つは各部門長さんが日常の業務の中で行っている管理・監督活動で二つ目が私の行っている仕事と考えてください。

わかりやすく申し上げますと会社の各部門に対する健康診断、もし罹患があれば加療上の処方をするといった仕事かと思えます。ただ、自分を振り返りますと、日々の飲酒と喫煙、勉強不足、運動不足の節操のない生活。

一番内部監査が必要なのは私自身かもしれません。

★Happy News★

お誕生おめでとうございます

★北陸営業所 桶谷主任
男児誕生

資格取得おめでとうございます

- ★総務部 西田主任 福祉住環境コーディネーター 2 級
- ★瑞穂通店 長江さん 福祉住環境コーディネーター 2 級
- ★法人建設課 高野さん 福祉住環境コーディネーター 2 級

入社社員紹介

★長谷川 郷史 甲信営業所 31 歳
趣味:ゴルフ、脳トレ
「日々、切磋琢磨して業務に邁進します。」

